

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 3月 24日

事業所名 放課後等デイサービス Pilina

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動スペースが約100平米あり、必要に応じてパーティションで区切っている。	
	2	職員の配置数は適切である	4	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3		対象となる児童や職員がいない。玄関に入るまで階段を使わなくてはいけない建物の構造になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		個別の目標、全体の目標を定め、一日に3回会議を行い情報の共有をしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		個別で研修に参加した内容も共有している。	外部講師や職員での研修を毎月行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		担当者会議、モニタリング等には2名体制で参加している。そのでの情報を全体会議で周知し、アセスメントを話し合える時間が枠組みされている。	アセスメントシートや更新用アセスメントシート、5領域の観点からニーズや課題を客観的に分析している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			アセスメントシート、更新用アセスメントシート等を用いて状況把握を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		1週間前に活動内容の共有を行い、意見を出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		日頃からアンテナを張り、子どもたちのニーズも含めて季節などに合わせてプログラムを作成している。	全スタッフがプログラム計画を行い、それを基に意見を出し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	日々行えるように事前の会議で設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		集団活動の際に、必要に応じて個別にて対応する事がある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		当日の活動について昼礼にて活動の確認、担当者の確認等を毎日行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		終礼で児童それぞれの個別支援計画を基に振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			終礼にて行っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		数か月から長くても半年に一度見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6		基本活動を基に活動を計画し、支援にあっている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		2名体制で参加し、情報の受け取りになるべく偏りがないようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		送迎時や担当者会議等で情報の共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2		今後受け入れる予定はないが、必要な際は積極的に連絡体制を整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		卒園した園と情報共有は行っている。今後も継続していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		今後も色々な機関とのつながりを作っていきたい。移行するケースがあった際にすぐに提供できるように準備をしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5		連携や助言があるが、研修の機会がない為、行っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		地域交流として今後機会を作っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		スマホや連絡帳等の連絡ツールや送迎時等で様子の共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		入所時の説明の際に行っている。また、質問があった際にもその都度説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		会議の議題に上げる等、職員間で共有し、助言や支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		ぼのタイムという保護者会や保護者参加の活動を行い、連携出来る場を設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		グループフォームやスマホアプリなどいつでも確認出来るようなツールを使用している。	
	35	個人情報に十分注意している	6		鍵付きのキャビネットに収納している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			アレルギーと診断されたものや申し出があった物は除去している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			